

【「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告書様式】

(モデル校名 広島県立廿日市西高等学校)

○ 学校の概要 (平成 15 年 4 月現在)

広島県立廿日市西高等学校									
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	9	10	10					29	63
生徒数	362	386	383					1113	

1 本校の「総合的な学習の時間」の課題

平成 13 年度から、「総合的な学習の時間」を導入し、受け身的な学習態度からの脱却を願い、「調べ学習」や「体験活動」を通して生徒に目的意識を持たせ、主体的に学習に取り組む態度の育成を図った。しかし、中・高等学校の連携はほとんどなく、系統的に「総合的な学習の時間」が行われていない現状がある。また、生徒の発達段階における到達目標も明確になっていない。よって、中学校の「総合的な学習の時間」に身につけた様々な「力」を高等学校において継承、発展させられていないことがあげられる。また、到達目標が明確でないだけに本校教員の中には「総合的な学習の時間」の実施について戸惑いが見られる。

2 研究主題の受け止めについて

情報交換や相互に発表会を参観することによって、中学校が実施している「総合的な学習の時間」の学習内容と目標について理解する。中学校、高等学校における「総合的な学習の時間」の到達目標を明確にし、学習計画の見直しを図る。

3 平成 15 年度の取組み内容と成果と課題

(1) 1 年生

生徒が自らの将来像を描けるようになるために、主に職業理解を深める学習を行った。職業体験の聞き取り調査・資料による職業調べ・講師を招いて行った職業別説明会や職業体験講話などによって職業についてさまざまなことを学び、自分が将来どんな職業を目指すのか、そのためにどうしたらよいかなど、職業観を深めることができた。その内容をまとめて一人ひとりがクラスで発表し、さらにクラス代表による学年発表会を行った。

(2) 2 年生

高校卒業後の具体的な進路目標を設定するために、主として上級学校調査を行い、自己の適性を図った。書籍による調査の他、オープンキャンパスへの参加、上級学校訪問などを行い、その内容を各ゼミ内で発表した。発表会に先立ち、発表会の目的や発表の方法について、生徒委員による「プレゼンテーション講習会」を実施した。発表会後の生徒の感想には、「同じグループの人達と、放課後残ったの資料作りはとても楽しかった」、「クラスの違うみんなとも友達になれたし、協力することの大切さを改めて学んだ」、「他の大学のことも良く分かった」、「これまでこつこつと発表の準備をして、今終わって思うことは、終わったと言う安心感と充実感でいっぱいです」、「このような情報交換は今後も必要だと思う」などがあつた。

(3) 「総合的な学習の時間」中高合同発表会

「このたびの発表会が今後行われる総合学習の授業で今後役に立ちますか」という質問を生徒にした結果「役に立つ 21%」「どちらかと言えば役に立つ 37%」と肯定的に捉えた生徒が約 6 割おり、次年度の「総合的な学習の時間」に対し主体的に臨む姿勢が見えた。

4 平成 16 年度の取組み

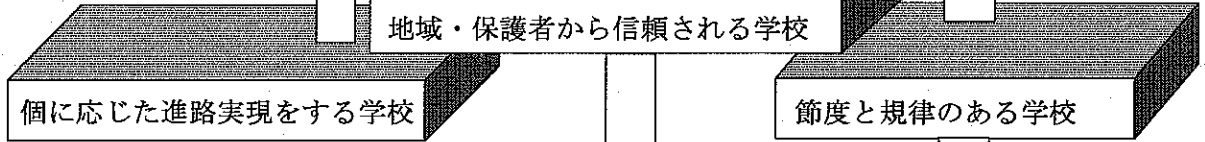
- ・ 3 年生の「総合的な学習の時間」では、生徒が、体験的な学習や課題解決型の学習を通して、自ら設定した課題を解決することにより、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む意欲・態度や技能を育て、自己の在り方生き方を考えさせる。
- ・ 中学校、高等学校における「総合的な学習の時間」の到達目標を明確にし、さらに学習計画の見直しを図る。

広島県立廿日市西高等学校「総合的な学習の時間」の全体構想図

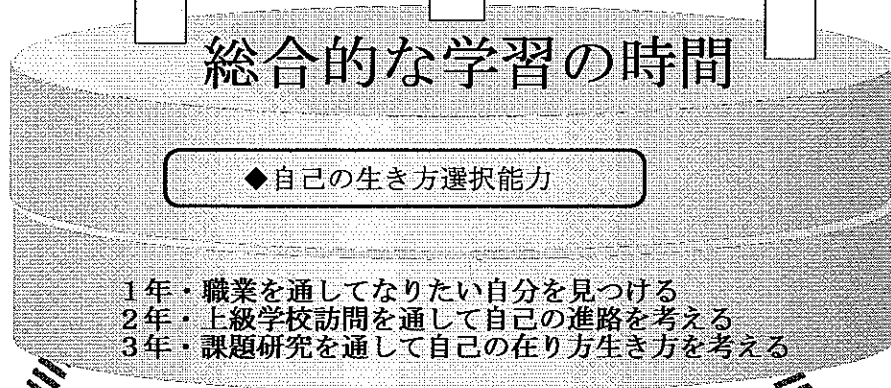
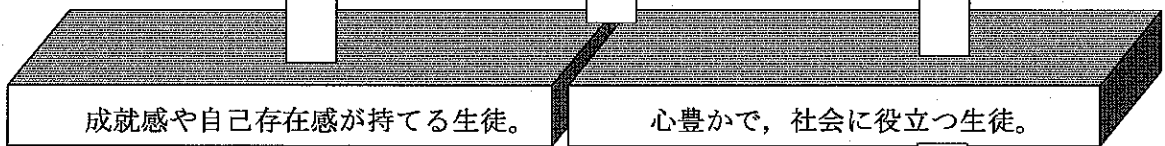
● 使命

確かな学力と強靱な体力を身につけ、きめ細かな指導によって生徒個々が進路希望に応じた進路実現をする。心豊かで節度と規律ある人間を育成し、信頼される学校とする

● 目標

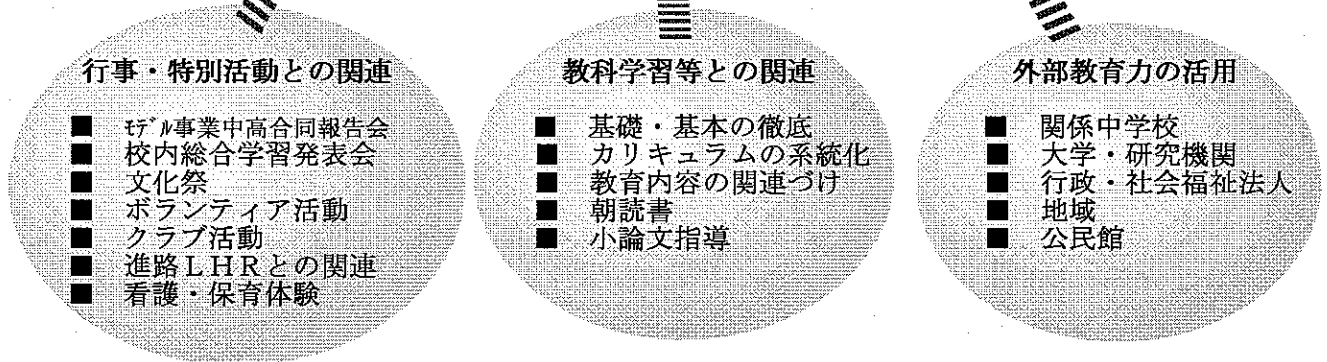


● めざす生徒像

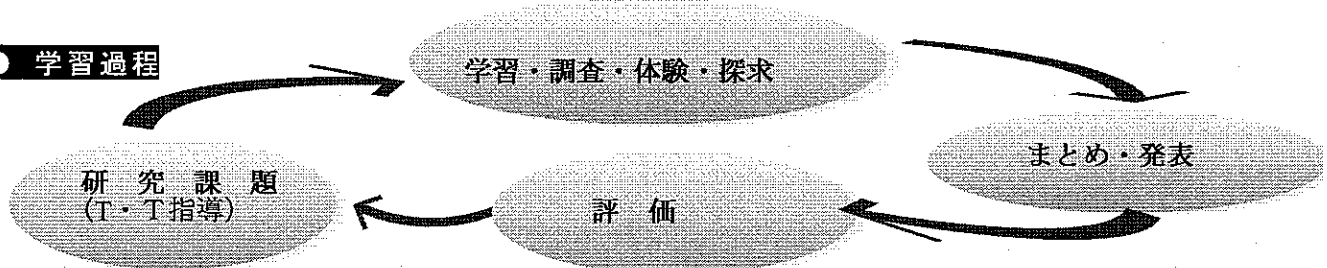


● 求める力

● 学習活動



● 学習過程



平成16年度第1学年「総合的な学習の時間」学習計画

月	授業時数	具体的指導内容	各担任の役割(指導方法, 指導体制等の詳細)
4月	2時間	1 『総合的な学習の時間』のオリエンテーション 2 進路適性検査についてのガイダンス	各 HR において, 主に担任が説明を行い, 副担任は机間指導や個別指導を行う。
5月	4時間	3 「自分史」のガイダンス, 及び作成発表会	同上
6月	4時間	4 適性検査の自己分析	同上
		5 社会人講話 ・職業への理解を深めるとともに, 勤労観, 職業観の育成を図る。 ・講師の選定, 交渉に生徒も関わる。	生徒の進路希望, 興味関心に応じて班を構成し, 社会人講話を実施する。交渉に生徒も関わる場面をつくる。担任, 副担任は, それぞれ幾つかの班を担当し, 個別に指導を行う。
7月	2時間	6 1学期の学習のまとめと夏季課題について	各 HR において, 主に担任が説明を行い, 副担任は机間指導や個別指導を行う。
8月	0時間	(夏季課題) 生徒は, 地域社会に出て「職業調べ」を行う。	なし (7月に事前指導をする)
9月	4時間	7 「職業調べ」の発表会 8 科目選択と進路調査 2年生の選択科目を考え, 進学・就職の進路調査を進める。	各 HR において担任が主たる説明を行い, 副担任は, 机間指導を行い個別指導を行う。
10月	5時間	9 職業について理解を深める (調査学習) ・ワークシートを活用し, 職業の種類とその特徴について理解を深める。 ・興味関心のある職業を選択し, その特徴について調査をする。(訪問インタビューも実施) ・変化の激しい現代社会の現状を理解し, 産業の発展と職業との関連も含めて調べる。 ・調査した内容をまとめて発表する。	生徒の進路希望に応じて, 少数の班を構成し, 調査学習を進める。担任, 副担任は担当する班を決め, それぞれ個別に指導を行う。
11月	2時間	10 「わたしのライフプラン」の作成 ・学習の振り返り ・私のライフプラン作成	各HRにおいて, 私のライフプランの作成の方法・発表の方法について, 主に担任が説明を行い, 副担任は机間指導又は必要に応じて面接指導など個別指導を行う。また, HR発表会は生徒が進行をつとめ, 担任, 副担任は評価を行う。
12月	2時間		
1月	4時間	11 「わたしのライフプラン」発表会 (HR)	
2月	4時間	12 「わたしのライフプラン」発表会 (全体)	生徒が進行をつとめ, 担任, 副担任は評価を行う。
3月	2時間	13 卒業生講話	生徒が進行をつとめ, 担任, 副担任は評価を行う。
総授業数	35時間		

平成16年度第2学年「総合的な学習の時間」学習計画

月	授業時数	具体的指導内容	各担任の役割(指導方法, 指導体制等の詳細)
4月	2時間	1 『総合的な学習の時間』のオリエンテーション	各HRにおいて主に担任が説明を行い, 副担任は机間指導や個別指導を行う。
5月	4時間	2 進路適性検査についてのガイダンス	同上
		3 講話 演題「社会で求められている力」 4 進路適性検査の結果の考察 ・進路適性検査の結果を基に自己の職業, 進学先の適性について分析をする。	体育館において一斉に展開する。 まとめの時間では, 主に担任が説明を行い, 副担任は机間指導や個別指導を行う。
6月	4時間	5 上級学校の調査学習 ・書籍, インターネット等を活用して上級学校や興味のある学部や学科について調査学習を行う。	生徒の進路希望に応じて, 少数の班を構成し, 調査学習を進める。担任, 副担任は担当する班を決め, それぞれ個別に指導を行う。
7月	2時間	・調査する内容や方法について自ら計画を立て, 実施する。	
8月	0時間	オープンキャンパス, 体験入学等に参加し, 上級学校についての理解を深める。上記, 5とあわせてレポートを作成する。	
9月	4時間	6 上級学校訪問に向けて ・希望調査の実施 ・KJ法を活用して質問事項を考える。	生徒の進路希望に応じて, 少数の班を構成し, 学習を進める。担任, 副担任は担当する班を決め, それぞれ個別に指導を行う。
10月	5時間	7 上級学校訪問 ・上級学校訪問を実施する。 8 プレゼンテーション講習会 9 上級学校訪問報告会の準備	
11月	2時間	10 上級学校訪問報告会の実施	
12月	2時間	11 2学年の学習のまとめ	各HRにおいて, 主に担任が説明を行い, 副担任は机間指導や個別指導を行う。
1月	4時間	12 3学年「汗と夢」総合学習事前学習 (1) 調査学習のテーマの決定 ①連携による出前授業 ②学習分野別ガイダンス	生徒の進路希望に応じて, 少数の班を構成し, 学習を進める。担任, 副担任は担当する班を決め, それぞれ個別に面接などの指導を行う。
2月	4時間	(2) 講座の決定 各教科による面接	
3月	2時間	(3) 仮テーマの決定	
総授業時数	35時間		

平成16年度第3学年「総合的な学習の時間」学習計画

月	授業時数	具体的指導内容	各担任の役割(指導方法, 指導体制等の詳細)
4月	4時間	1. オリエンテーション 2. 自己課題(研究テーマ)の確認(面接) 3. 年間学習計画の設定 4. 第1回プレゼンテーション	体育館において一斉にオリエンテーションを展開した後, その後, 各HRでは主に担任が説明を行い, 副担任は机間指導や個別指導を行う。 また, 面接指導においては, クラスを分割し, きめ細かい指導を行う。
5月	4時間	5. 調査研究	担任, 副担任は, クラスを分割して担当し, 個別に指導を行う。
6月	4時間	6. 調査研究・中間報告書作成	
7月	4時間	7. 調査研究	
8月	2時間		
9月	4時間		
10月	4時間	8. 調査研究・プレゼンテーション講習会	担任は, プレゼンテーション講習会を実施する生徒委員を指導する。
11月	4時間	9. 第2回プレゼンテーション 10. 学習成果発表会	各HRにおいて, 学習成果発表会にむけて共に個別指導を行う。主に担任が説明を行い, 副担任は机間指導, 又は必要に応じて面接指導など個別指導を行う。
12月	2時間	11. 調査研究 12. 調査研究・まとめ	各HRにおいて, 学習のまとめにむけて共に個別指導を行う。主に担任が説明を行い, 副担任は机間指導, 又は必要に応じて面接指導など個別指導を行う。
1月	3時間	13. まとめ	
2月	0時間		
3月	0時間		
総授業時数	35時間		